

- **管 内** 石狩管内
- **分 類** 生活安全 交通安全 災害安全
- **教育課程** 教科（科） 道徳 総合的な学習の時間 特別活動 その他
- **校 種** 小学校（低） 小学校（中） 小学校（高） 中学校 高等学校
- **取組のポイント**

- 「不審者対応マニュアル」に基づいた校内外における不審者対応訓練
- 事前・訓練・事後指導を通じた危険回避能力の育成

取組の実際

ねらい

- 非常時における危険回避の基本的な行動の仕方について理解し、安全に避難できるようにする。
- 校内外における不審者等から身を守る方法について理解し、自ら適切に判断して行動できるようにする。

内 容

1 校内における不審者対応訓練

○ 事前指導

- ・不審者の行動に応じて、避難する、教室の鍵をかける、机でバリケードをつくるなどの対応があることを学習する。

○ 訓練

- ・教職員による不審者への対応や放送による指示を行うなど、校内での対応の仕方について訓練する。

○ 事後指導

- ・全校児童と教職員が警察官からの指導を受け、その後、各学級において訓練時の行動について振り返り、成果や課題を確認する。



机でバリケードづくり

2 校外における不審者対応訓練

○ 事前指導

- ・VTR「ひとりのときがあぶない」、「自分で自分を守る」（文部科学省選定・社団法人青少年育成国民会議推薦）を視聴し、校外で不審者に出会ったときの対応について学習する。

○ 訓練

- ・助けを求めるときの声の出し方や、学校が作成した「不審電話対応マニュアル」を活用して不審電話への対応の仕方について訓練する。

○ 事後指導

- ・全校児童が校長による講話を聞いた後、各学級において訓練について振り返り、身を守るためにとるべき行動について再確認する。



不審者対応訓練の様子

成果と課題

- 校内と校外の2回の不審者対応訓練を実施することにより、児童や教職員が不審者等から身を守る方法について、理解を深めることができた。
- 地域の安全マップを更新するとともに、効果的な活用方法について検討する必要がある。